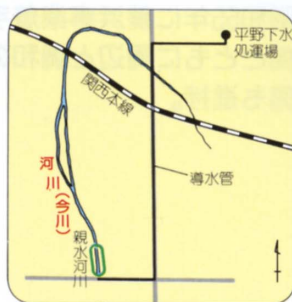


下水処理場できれいになった第3次処理水をパイプでみちびく。地域の人々が集い、語ら
いのできる憩いの場。



今川は、大阪市東南部の東住吉区を南北に縦貫する延長四・五キロメートル、幅員六〇二四メートルの一級河川である。

古くは農業用水路として、また地域の人々の集いの場として親しまれてきたが、都市化が進むにつれ水源を失ったことから、水枯れの状態が続いてい



データボード④⑥

- ① 大阪府大阪市東住吉区
- ② 大阪府役所 ☎06-208-9503
- ③ 河川浄化用水導入管：φ600mm×5.3km
親水河川：延長100m、幅10～15m
- ④ 遊歩道、橋等

た。そこで、市は、この川に清流をよみがえらせるため、浄化した水を使用することにした。平野下水処理場から今川の最上流部に三次処理水を導水管で導くもので、全国でも初の試みであった。導水管は、直径六〇センチメートル、延長五・三キロメートルであり、工事は昭和五三年から五六年まで行われた。

清流がよみがえった今川は、さらに高水敷を遊歩道として整備するとともに、上流一〇〇メートルは岩や石を配置した「親水溪流」として整備を行い、また、木製の小橋や遊歩道も設けて人々の憩いの場として広く親しまれている。